

平成 28 年度 環境委員会 事業報告

事業名等	実施内容	反省・総括
<p>ごみ収集対策事業</p>	<p>①集積所の管理運営（通年、地区内 50 箇所） ②ごみ出しの指導（随時）</p>	<p>実施内容のとおり</p>
	<p>③市町村搬入ごみチェック（年 2 回 7 月, 12 月） （桐林クリーンセンターへ市内他地区、周辺町村から搬入された燃やすごみの分別が適切かどうかチェックする）</p>	<p>ごみの組成調査やごみチェックは、平日の昼間に行われるため参加は大変だが、各区正副委員長全員が任期中 1 回は参加する様に努めてもらった。結果は、2 回とも紙資源が多く混ざっていた。</p>
	<p>④ごみの組成調査（6 月 24 日） （グリーンバレー千代、桐林クリーンセンター）</p> <p>●今年度は「埋立ごみ」「燃やすごみ」の両方の組成調査を行った。 （ごみ組成調査：分別されず、入れてはいけないものがどの程度混入しているかその割合を調査する）</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">埋立ごみ</span> ⇒市内 20 地区中 10 位 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">燃やすごみ</span>⇒市内 10 地区中 10 位</p>	<p>「組成調査」の結果は、実施内容のとおり、残念な結果であった。市内 20 地区の平均と比べ、プラ資源、金属資源、びん、紙資源が多く混ざっていた。そのため、今年度も組成調査結果を踏まえた「ごみ分別啓発チラシ」を各戸配布した。前年度よりも、分別を間違いやすいごみの情報を多く掲載するなど、より見やすく、分かりやすいものとなるよう、内容を改善した。来年度以降も引き続きチラシを配ることで、分別に対する住民の意識と知識の更なる向上を目指し、分別の改善を目指したい。</p> <p>また、来年度は焼却場が下久堅へ移り、分別方法が変わるので、研修会やチラシ等で啓発し、混乱が起きないようにしたい。</p>
	<p>リサイクルステーション運営</p>	<p>① リサイクルステーションの運営 （地区内 5 箇所×年 6 回）</p>
<p>② ごみ出しの指導（随時）</p>		<p>びんやペットボトルの分別で間違いやすい点をまとめ、正しい持ち込みが出来るように働きかけたい。</p>
<p>環境美化事業</p>	<p>① 春のごみゼロ運動（5 月 29 日） （参加者 1,165 名：昨年より 39 名増） 内、高校生以下の子供の参加者 99 名</p> <p>② 秋のごみゼロ運動（11 月 13 日） （参加者 1,061 名：昨年より 38 名減） 内、高校生以下の子供の参加者 59 名</p>	<p>昨年度に比べ、参加者数はほぼ変わらなかった。子供については、小さいころからごみ拾いに参加することで、環境美化意識の高い大人になると考え、重要視していた。子供の参加は、春と秋合わせて 20 名増えた。ごみゼロ運動は、飯田市統一美化行動日としての取り組みのため、市から学校へ参加を呼びかけても良いのではないかと思う。地域ごとの美化活動は、常会・組合単位で身近な所のごみ拾いや清掃が基本である。環境美化の意識を高め、美化活動への参加者を増やすため、地区ごとに住民へ呼びかけたい。</p>
	<p>③ 全市一斉水辺等美化活動（7 月 3 日） （参加者 1,168 名：昨年より 26 名増）</p>	<p>各地区内の河川周辺の草刈りや土砂の処理、ごみ拾いなどを行った。新川、臼井川など一級河川の清掃作業については、県の補助金を申請した。</p>
	<p>④ 時又灯ろう流しの協力 （8 月 16～17 日）</p>	<p>各区の正副委員長と時又の環境委員全員により、数年前から時又灯ろう流しで出るごみの回収作業に協力している。17 日朝、大量のごみを分別した。ごみの量は年々減少していると思われる。</p>

## 平成 28 年度 環境委員会 事業報告

省エネ推進事業	<p>家庭における環境家計簿の取り組みの推進 ※この取り組みは飯田コアカレッジやおひさま進歩の協力を得て行っている</p> <p>①平成 27 年度環境家計簿報告会、省エネ講座 実施日 平成 28 年 5 月 16 日 (参加者 40 名) 講師 南信州おひさま進歩 内山 氏 (平成 27 年度 取り組み者数 54 名)</p>	<p>この取り組みは 3 年目を迎えた。1 年間の結果を踏まえ、竜丘地区全体の傾向をグラフ・数値化し全国と比べ、二酸化炭素の排出量が多いことが分かった。また、2 年間継続した方のデータを基に、効果の検証を行った。協力してくれた全世帯へ、世帯ごとの結果をフィードバックした。地区内の同人数世帯平均や全国平均との比較ができた。今年度も「環境家計簿」の記録の継続をお願いした。</p>							
	<p>②環境家計簿への周知のための活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6 月に竜丘ホームページへデータ掲載</li> <li>・ 6 月と 9 月に組合回覧</li> </ul>	<p>地区住民に取り組みを広めるため、竜丘の HP から「環境家計簿」のフォーマット等をダウンロード出来るようにした上で、2 回組合回覧した。</p>							
	<p>③文化祭展示用パネルを 1 枚作成 (4 月～9 月分の中間集計の際、44 名提出) 【内訳】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">環境委員</td> <td style="text-align: right;">42 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">(内、2 年目)</td> <td style="text-align: right;">37 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">一般</td> <td style="text-align: right;">1 名(回覧を見て)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">事務局</td> <td style="text-align: right;">1 名</td> </tr> </table>	環境委員	42 名	(内、2 年目)	37 名	一般	1 名(回覧を見て)	事務局	1 名
環境委員	42 名								
(内、2 年目)	37 名								
一般	1 名(回覧を見て)								
事務局	1 名								
鶯流峡環境美化推進事業	<p>①不法投棄パトロール (各区正副委員長参加) (春：4 月 19 日) (秋：10 月 25 日)</p>	<p>春と秋の不法投棄パトロールで鶯流峡を回り、鶯流峡復活プロジェクトの活動状況を確認した。竜丘クリーン運動で、春に鶯流峡、秋には御万堂坂周辺河川のごみを回収した。</p>							
	<p>②不法投棄防止看板付け替え ⇒カメラのイラストから優しいメッセージの書かれた物へ</p>	<p>市の「環境美化重点区域」の指定を受け、昨年度、マルキチ倉庫横と長野原側入り口に設置した不法投棄防止の看板について、カメラのイラストが描かれた強い印象の看板から、優しいメッセージの書かれた物へ付け替えを行った。昨年度実施したガードレール洗浄作業については、効果が見込まれるので、他の場所での実施を検討したい。</p>							
不法投棄対策事業	<p>①不法投棄パトロール (各区正副委員長参加) (春：4 月 17 日) (秋：10 月 22 日)</p>	<p>委員 (各区正副委員長) と不法投棄パトロール員により、環境美化重点路線を中心にパトロールを行い、不法投棄が目立つ箇所を確認した。</p>							
	<p>②竜丘クリーン運動</p> <p>【春：5 月 29 日】 県道駄科大瀬木線 (鈴岡城址公園下の道路沿い河川)、鶯流峡環境産業公園内、上川路大畑地区</p> <p>【秋：11 月 13 日】 県道駄科大瀬木線、時中線 御万堂坂周辺河川、上川路大畑地区</p>	<p>全環境委員 (65 名) で、不法投棄物の目立つ箇所のごみ収集活動を春と秋に実施した。不法投棄の撲滅を目指すこの取り組みは竜丘独自の活動であり、来年度以降も継続していく。この取り組みを地区内外の住民に知ってもらうため、来年度は新聞に取り上げてもらう等、広報活動も行う。</p>							
	<p>③ダミーカメラ設置 (12 月中) 上川路の大畑地区へ 2 箇所設置 (不法投棄が多発しているため)</p>	<p>昨年度購入した、不法投棄対策用のダミーカメラと太陽光発電のセンサーライトを活用し、地区内へ設置した。他の不法投棄発生場所へ設置することもできるように、移動可能な物を作成。他にも必要な場所があるため、来年度もダミーカメラの設置を検討したい。</p>							

## 平成 28 年度 環境委員会 事業報告

<p><b>啓発事業</b></p>	<p>①環境衛生強化週間            第1回（5月16～21日）            第2回（9月19～24日）            第3回（1月16～21日）</p>	<p>環境衛生強化週間中は、各地区のごみ集積所へ、分別啓発用の上り旗を設置するようにしている。だいぶ古くなっているの、必要性も踏まえて今後検討していきたい。</p>
	<p>②竜丘地区文化祭（11月5～6日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組成調査、環境家計簿パネル 各1枚展示</li> <li>・環境課からの組成調査結果ポスター展示</li> <li>・ごみ分別クイズの実施（2日間で95名実施）</li> </ul>	<p>文化祭への展示発表により、環境家計簿の取り組み内容を知ってもらうことができた。また、「埋立ごみ」組成調査結果の成績について、竜丘地区があまり良くない現状だと伝えた。環境課提供の組成調査結果グラフが載ったポスターも展示。そして、新しい『ごみ分別クイズ』を実施した。子供を中心に2日間で計95名の取り組みを得て、分別の啓発ができた。分別に役立つ品やエコ啓発グッズを景品にして、大人にも参加してもらえるよう改善した。</p> <p>引き続き、ごみ分別改善の働きかけと、環境美化に対する意識・知識の向上を図りたい。</p>
<p><b>研修事業</b></p>	<p>委員研修会の開催            実施日 平成28年5月16日            （環境委員65名中40名参加）</p> <p>1部 内容 『平成27年度環境家計簿報告会』            『家庭の省エネ講座』            講師 南信州おひさま進歩            内山 由美子 氏、菅沼 氏</p> <p>2部 内容 『集積所に残されたごみや不法投棄への対応』等について            講師 飯田市環境課職員2名</p>	<p>多くの質問や意見が出され、活発な研修会を行うことができた。1部では、報告会と共に、今年度の環境家計簿実施に役立ててもらうため、冷蔵庫の省エネ方法を学んだ。</p> <p>2部では、日々のごみ集積所運営で困る事案への対応を中心に学んだ。</p> <p>来年度は9月から焼却場が移り、ごみの分別方法が大幅に変わることが予想される。集積所の管理運営に支障をきたさないよう、ごみ分別の指導が求められることになる。これまで以上に、環境委員として知識習得に努めたい。</p>